



2020年度 第2四半期  
**決算概要**

2020年11月10日  
日揮ホールディングス株式会社  
グループ財務部長  
田口信一

グループ財務部長の田口です。

2020年度第2四半期の決算概要について説明させていただきます。

1. 2020年度第2四半期ハイライト
2. 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
3. セグメント情報
4. 連結貸借対照表
5. 連結キャッシュ・フロー計算書
6. 受注の状況
7. 業績見通し

## 1. 2020年度第2四半期ハイライト



- 業績は通期予想に向かって着実に進捗。総合エンジニアリング事業の採算改善により利益率は上振れ。
- 新型コロナウイルス感染拡大の工事採算への影響見通しは変わらず。
- 強固な財務基盤を維持。
- イラク製油所近代化プロジェクトの受注高を計上。

3

最初に当第2四半期のハイライトです。

通期業績予想に変更はなく、発表値に向けて着実に進捗しております。第2四半期は国内外案件で採算改善があり、粗利益率は上振れしました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、遂行中案件では感染防止対策を取りながら工事を進めており、追加的な採算変動は生じていません。

財政状態については、経済情勢の不透明感が一層強まる中で今後の事業環境の変化に対応できるよう、強固な財務基盤を維持しています。

受注に関しては、先月発表した通りイラクの製油所近代化プロジェクトの契約調印が行われ、受注高を計上しています。

## 2. 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (決算短信 P.7~8)



【億円】

	FY2019 2Q	FY2020 2Q	前年同期比	通期予想値
売上高	2,183	<b>1,994</b>	△ 189	4,800
売上総利益	180	<b>215</b>	+35	430
利益率	8.3%	<b>10.8%</b>	+2.5pt	9.0%
営業利益	72	<b>115</b>	+43	200
経常利益	103	<b>119</b>	+15	230
親会社株主に帰属する 四半期純利益	44	<b>39</b>	△ 5	80
四半期純利益	45	<b>39</b>	△ 5	
その他の包括利益	△ 80	<b>111</b>	+191	
四半期包括利益	△ 34	<b>151</b>	+185	

4

次に連結損益計算書及び連結包括利益計算書です。

当第2四半期は、全般的に期初の見通しに沿って着実に進捗している状況です。

売上高は、前年同期比189億円減の1,994億円。

売上総利益は、35億円増の215億円。

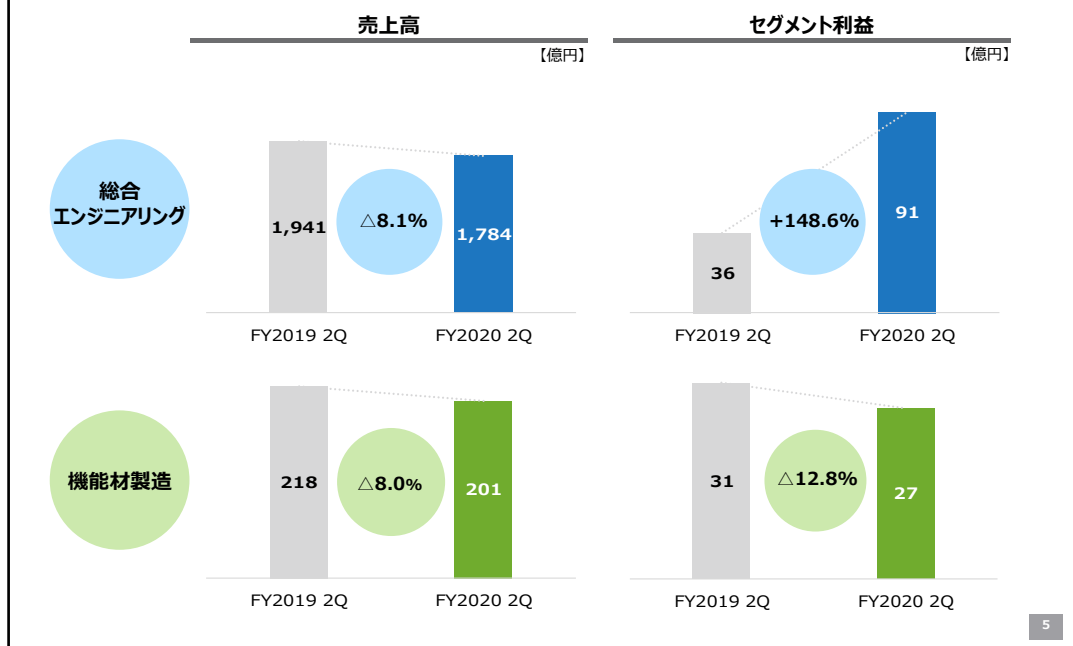
粗利益率は10.8%と2.5ポイントの改善になりました。総合エンジニアリング事業における赤字案件の終息等により収益性が改善しています。特に当第2四半期は、国内外案件での採算改善があったことなどにより、通期予想も上回っています。

営業利益は、43億円増の115億円。

経常利益は、15億円増の119億円。

親会社株主に帰属する四半期純利益は5億円減の39億円です。

### 3. セグメント情報 (決算短信 P.11)



次にセグメント情報です。

総合エンジニアリング事業は、売上高が前年同期比8.1%減収の1,784億円となりましたが、セグメント利益は91億円に増加しました。LNGカナダプロジェクトの本格的な売上貢献に加え、国内の複数の案件が順調に進捗し工事終盤を迎えたことなどにより採算が改善しており、前年同期比で増益となりました。

主な売上計上案件は、海外ではLNGカナダプロジェクト、アルジェリアのガス昇圧設備、国内は化学案件などです。

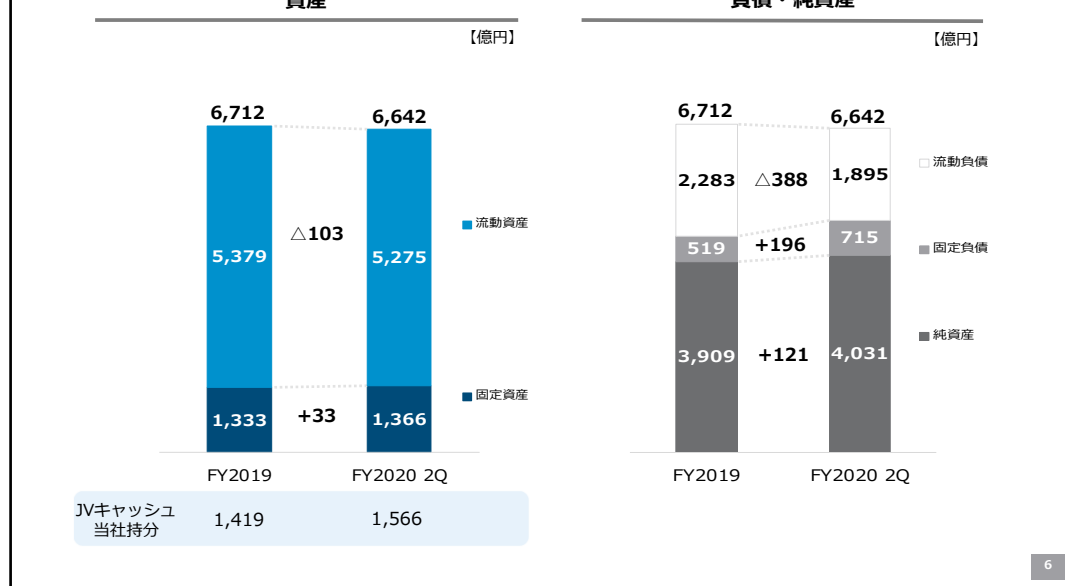
新型コロナウイルス感染拡大による一部案件での工期延長に伴う追加コストについては、今回特段の追加はありませんでした。

機能材製造事業は、売上高は前年同期比8.0%減収の201億円、セグメント利益が12.8%減少の27億円です。

新型コロナウイルス感染拡大の影響をはじめとする経済全体の活動停滞により、触媒、ファインケミカル製品共に需要が低下しており、減収減益となっております。

通期予想に対する売上高の進捗は、総合エンジニアリング事業が41%、機能材製造事業が48%でした。

#### 4. 連結貸借対照表 (決算短信 P.5~6)



次に連結貸借対照表です。

総資産は前期末から横ばいの6,642億円となりました。流動資産が103億円減少しております。終了案件のジョイントベンチャーからの配当金入金など資金回収による完成工事未収入金の減少が主な理由です。

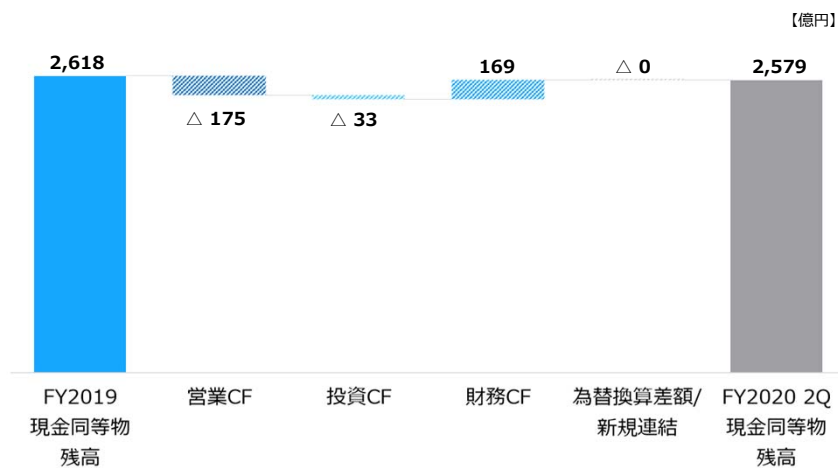
負債・純資産サイドでは流動負債が388億円減少しております。工事終盤の案件の進捗に伴う工事未払金及び未成工事受入金の減少によるものです。

固定負債の増加196億円は、社債200億円の発行によるものです。10月の前回償還資金に充当しています。

純資産の増加121億円は、為替換算調整勘定の増加などによるものです。

自己資本比率は60%です。

## 5. 連結キャッシュ・フロー計算書 (決算短信 P.9)



7

次に連結キャッシュ・フロー計算書です。

現金及び現金同等物は、前期末からほぼ横ばいの2,579億円でした。営業活動によるキャッシュ・フローが175億円のマイナスとなっております。工事終盤を迎えた案件で工事未払金の支払いが進んだことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは社債発行によりプラスとなっております。

## 6. 受注の状況 (決算短信 P.13)



### i) 受注高

【億円】

	FY2020 2Q	通期予想
海外	4,688	5,400
国内	293	1,300
合計	4,981	6,700

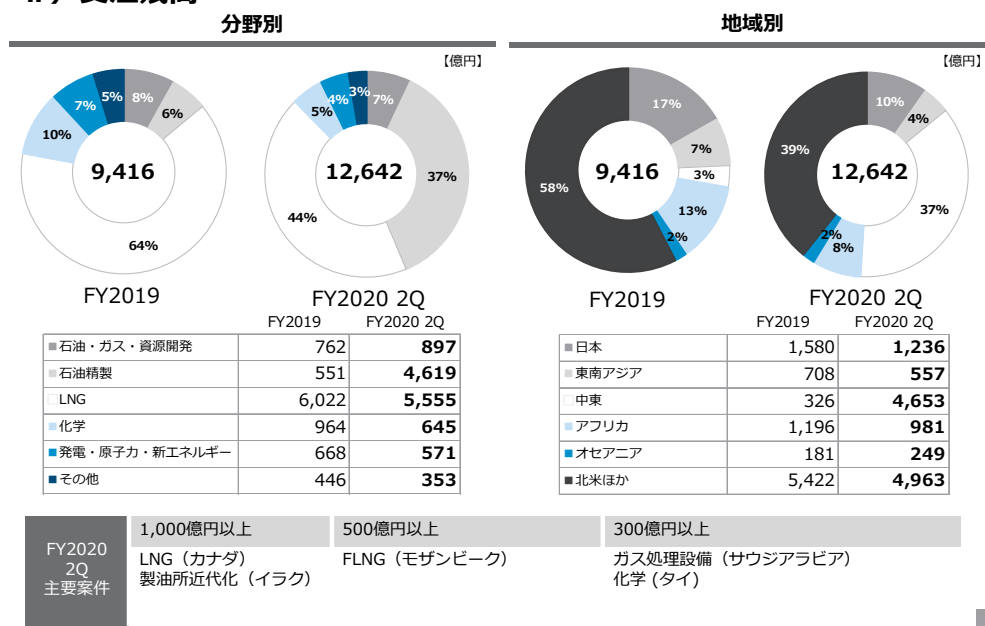
次に受注の状況です。

受注高は、イラクの製油所近代化プロジェクトの受注により海外が4,688億円、国内293億円と合わせて4,981億円となりました。

下期に国内外で受注を期待している案件があり、通期予想は6,700億円を変更しておりません。



## ii) 受注残高



次に受注残高です。

2020年9月末の受注残高は1兆2,642億円となりました。

分野別ではLNG関係が44%と半分以下になり、石油精製が37%となりました。

地域別では北米ほか39%、中東が37%とこちらも分散する形となりました。

主な受注残高としては、LNGカナダプロジェクトとイラクの製油所近代化プロジェクトが1,000億円を超える案件です。

## 7. 業績見通し



予想レートを107円から105円に変更しております。その他、通期の業績予想に変更はありません。

【億円】

通期予想	
受注高	6,700
売上高	4,800
売上総利益	430
利益率	9.0%
営業利益	200
経常利益	230
親会社株主に帰属する 当期純利益	80
1株当たり配当金	12.0円
換算レート(米ドル)	105円

10

最後に通期業績見通しですが、期初発表予想から変更はありません。

この予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が今後著しく悪化せず、当社グループの事業環境が今年度末に向けて徐々に回復するという前提で算出しています。

総合エンジニアリング事業では当第2四半期までの売上進捗が41%に留まりましたが、下期完工案件や国内案件での年度末に向けての伸びが期待できます。機能材製造事業は触媒関連の需要減による影響を受けているものの、売上進捗48%を確保しており、通期予想の達成に向けて着実に進んでいると考えております。

今回、予想レートを1米ドル107円から105円に変更しています。為替レートの変動による影響は、参考値ですが、米ドル1円当たり売上高25億円、粗利益2億円、経常利益4億円です。

以上で2020年度第2四半期の決算概要の説明を終わります。

## 参考資料

## 参考（2020年度のセグメント別見通し）



通期の業績予想に変更はありません。

【億円】

	総合 エンジニアリング	機能材製造	その他 (調整額含む)
売上高	4,320	420	60
セグメント利益	150	50	0
利益率	3.5%	11.9%	0.0%

## 参考（地域別売上高、受注高）



### 売上高

【億円】

	FY2019 2Q	FY2020 2Q
日本	822 (37.7%)	<b>780</b> (39.1%)
東南アジア	296 (13.6%)	<b>211</b> (10.6%)
オセアニア	63 (2.9%)	<b>9</b> (0.5%)
アフリカ	356 (16.3%)	<b>205</b> (10.3%)
中東	255 (11.7%)	<b>156</b> (7.9%)
欧州・CIS	15 (0.7%)	$\Delta$ <b>1</b> ( $\Delta$ 0.1%)
北米ほか	373 (17.1%)	<b>632</b> (31.7%)
合計	2,183 (100.0%)	<b>1,994</b> (100.0%)

### 受注高

【億円】

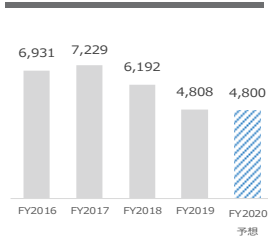
	FY2019 2Q	FY2020 2Q
日本	551 (72.4%)	<b>293</b> (5.9%)
東南アジア	126 (16.7%)	<b>52</b> (1.0%)
オセアニア	7 (1.0%)	<b>1</b> (0.0%)
アフリカ	3 (0.4%)	<b>15</b> (0.3%)
中東	41 (5.5%)	<b>4,483</b> (90.0%)
欧州・CIS	5 (0.7%)	$\Delta$ <b>17</b> ( $\Delta$ 0.3%)
北米ほか	24 (3.3%)	<b>153</b> (3.1%)
合計	760 (100.0%)	<b>4,981</b> (100.0%)

## 参考（業績推移-通期）

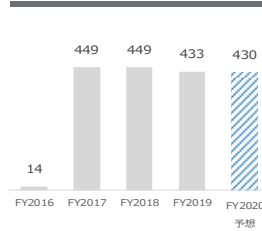


【億円】

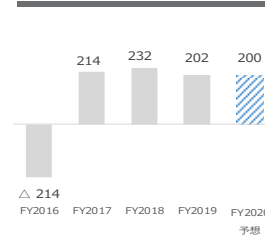
### 売上高



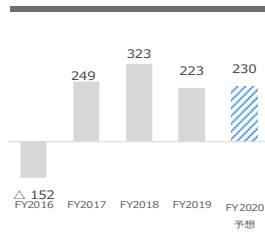
### 売上総利益



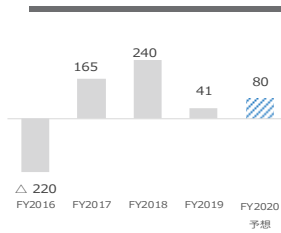
### 営業利益



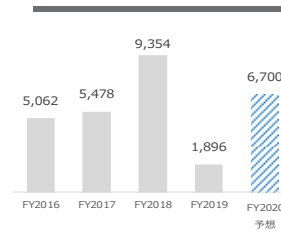
### 経常利益



### 親会社株主に帰属する 当期純利益



### 受注高



## 将来の見通しに関するご注意事項



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

<本資料に関するお問い合わせ先>  
日揮ホールディングス株式会社  
グループ経営推進部 コーポレートコミュニケーショングループ  
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112  
E-mail: ir@jgc.com